

財団法人 8020 推進財団

平成 20 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：福岡市 こどもの“健口*”と“食育”支援事業
— 食前の手洗い・食後の歯磨き 合同普及キャンペーン —

2. 申請者：社団法人 福岡市歯科医師会 会長 山本 達雄

3. 実施組織：

(主催) 社団法人 福岡市歯科医師会

(共催) 福岡市 (地域保健課 (歯科・栄養指導担当)・城南区衛生課)

(協力) 福岡市 (食品安全推進課、保育所指導課)、市教育委員会 (健康教育課)
福岡市学校歯科医会

4. 事業概要：

福岡市城南区で「手洗い」普及イメージキャラクターとして活躍していた、“ニッコりん (城南区油山の妖精)”と、新たに「歯みがき」推進マスコットキャラクターとして“歯っぴ〜ちゃん (歯の妖精)”や“フっちゃん (フッ素の王様)”を登場させ、こどもたちに親しみやすい「歯みがき・手洗い」普及 DVD を作成し、歯科医師会が行政と協働で、こどもの「健口」と「食育」を支援する事業を実施した。

*期待される成果

- 1 「食育」の一環として“健口 (お口の健康)”が明確化する。
- 2 「フッ素配合歯磨剤」の普及は「健康日本 21」の目標にも設定されている。本市においても、永久歯が萌出する時期に当たる、保育園 (所)・幼稚園および小学校で、「フッ素配合歯磨剤」を普及し「健康日本 21 福岡市計画」で設定した目標値の一つ“12 歳児の一人平均むし歯数、1 歯未満 (平成 24 年)”の達成を目指す。

5. 事業内容：

- ①「歯みがき・手洗い」啓発 DVD の作成・配布
- ②幼稚園・保育園「食後の歯磨き」実態調査

6. 今後の課題：

今後の課題としては、「歯みがき・手洗い」啓発 DVD 配付を契機に、とくに、6 歳臼歯の萌出が開始する、幼稚園・保育園で、昼食後の歯みがき時の歯磨剤の使用が普及するよう、継続的な啓発が必要と思われる。

今後、幼稚園・保育園に、歯みがき時の歯磨剤使用や、効果的な口すすぎ等についての啓発・普及チラシを、経年的に配付するとともに、施設での、昼食後の歯磨き等の実施状況に関するアンケート調査を行い、昼食後歯磨き時の歯磨剤の普及状況を評価していく。